

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	平成27年7月24日(金) 午後2時58分 ~ 午後5時16分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室(市役所4階)
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：委員7名 欠席者：なし
議 題 等	<p>1 委員委嘱書の交付</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 事務局紹介</p> <p>5 報告</p> <p>(1) 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱について</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出について</p> <p>(2) 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領(案)について</p> <p>(3) 推進委員会の進め方について</p> <p>(4) 基本目標の施策について</p> <p>(5) その他</p>
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>議題1：会長は橋爪委員、副会長は谷津委員に決定する。</p> <p>議題2：「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領(案)」のとおり、決定する。</p> <p>議題3：平成27年10月までに5回の会議開催を目途とし、総合戦略素案に基づき、各施策及び各事業について、意見をいただく。</p> <p>議題4：・滞在人口の捉え方、市の魅力、創業者数を把握する方法については、事務局にて確認する。 ・事務局にて、資料5及び6の構成の整理を行い、再度配布する。 ・次回は、基本目標①の施策3から検討を行う。</p> <p>議題5：次回以降の会議の開催日程については、事務局にて調整の上、決定する。</p>
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>1 委員委嘱書の交付 市長より各委員に委嘱書の交付を行った。</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 事務局紹介</p> <p>5 報告</p> <p>(1) 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱について (事務局) 資料1「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱」について説明</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出について (事務局) 会長・副会長の選出については、設置要綱第4条第1項の規定により委員の互選で決定することになっている旨を説明 (委 員) 会長に橋爪委員、副会長に谷津委員を推薦する。 (委 員) 異議なし</p>

<結 論>

・会長は橋爪委員、副会長は谷津委員に決定する。

(2) 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領(案)について

(事務局) 資料2「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領(案)」について説明

(会 長) 会議録の作成のために、録音はするのか。

(事務局) 録音する。

(委 員) 会議録の公開は、どのように行うのか。

(事務局) 市ホームページにて公開する。

<結 論>

・「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領(案)」のとおり、決定する。

(3) 推進委員会の進め方について

(事務局) 資料3「総合戦略の概要」、資料4「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針」について説明

<結 論>

・平成27年10月までに5回の会議開催を目途とし、総合戦略素案に基づき、各施策及び各事業について、意見をいただく。

(4) 基本目標の施策について

(事務局) 基本目標①「まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる」について説明

－質疑・意見等－

(委 員) 平日・休日の滞在人口を5%増加するという数値目標が挙げられているが、実際に何人増やすのか。

(事務局) 地域経済分析システム「RESAS」を参照すると、2時間以上滞在している人は平日6.94万人、休日8.1万人なので、それぞれ3,470人、4,050人の増加となる。

(委 員) 休日は人口よりも多いが、観光目的か、それともイオンモールむさし村山の来客か。

(事務局) 500m四方の滞在人口をみると、イオン周辺に人が集まっているように表示される。

(委 員) 人が集まっている場所から市内各所に誘導することも重要である。

(委 員) 数値目標が市外からの人の流れを増やすことが示されている一方、基本目標は市内か市外が分かりにくい。市外から呼び込みたいのであれば、その趣旨で書いた方がよいのではないか。

(会 長) 市内にいる人の数を増やすことは重要なことである。

(委 員) 趣旨は市外から人を呼び込みたいということではいいか。

(事務局) そうである。

(委 員) 基本的方向に書かれている「市の様々な魅力」について、市が考える魅力を提示した方がよい。個々人の思う魅力は違うと思うので、何が魅力なのかを共有した方が議論が散漫にならないのではないか。

(委 員) 市の考える魅力は施策で示されているだろう。各委員の思う魅力を出し合って、それを追加してもらった方がよい。

	<p>(事務局) 事務局にて案をつくりたい。</p> <p>(委員) 施策1「創業を希望している市民への支援」について、市として産業競争力強化法に基づく計画策定はする予定はあるか。</p> <p>(事務局) 今月中に東京都に申請する予定である。</p> <p>(委員) 市内で創業するメリットを感じてもらう必要がある。若者やシニアが市内で創業する際の融資などは考えているのか。ウィメンズチャレンジプロジェクトは、機運を高めるものなので、必ずしも市内創業につながるものではない。</p> <p>(委員) 平成25、26年に融資実績がないと説明があったが、創業者向けの融資プランがあるのであれば、申請しにくいのではないか。融資を受けたい人のニーズに合わせて制度や書式を変えないと実績がないままになる。</p> <p>(委員) 創業支援を行う際、創業地は市内に限定しているのか。市民であれば創業する場所は問わないのか。</p> <p>(事務局) ウィメンズチャレンジプロジェクトは啓発事業であって具体的な支援ではない。創業支援は、市民が市内で創業することが条件になる。</p> <p>(委員) 創業したい人がいないわけではないと思うので、使い勝手がよくないか、告知不足かもしれない。</p> <p>(委員) KPIで挙げられている年間13人という数値は、産業競争力強化法を利用した人の数ということか。市内で創業した人の数ということか。後者の方がよいと思うが、どちらか。</p> <p>(事務局) 産業競争力強化法を利用した人と考えている。</p> <p>(委員) 融資の利用に関わらない方がよい。</p> <p>(会長) 市内で創業した人の数の方が分かりやすいだろう。</p> <p>(委員) 産業競争力強化法の計画書に目標が書かれることになると思うので、それに準じるべきだろう。</p> <p>(会長) 創業者数を把握する方法についても確認されたい。</p> <p>(委員) 市民は保守的な人が多いと感じており、創業に関する講座に参加しても、すぐに創業につながるわけではない。セミナー受講者に、市が何らかの業務を委託すると、創業につながるのではないか。受講者の横のつながりも形成される。</p> <p>(委員) 施策2「産業の振興と雇用の促進」について、道路拡幅などの工事でも市内事業者が仕事をとれない。市内の仕事は地元で行うようにして、市内にお金を落ちるようにできるとよい。</p> <p>(委員) 工業団地の道路整備は、事業者が一時的に事業所を移転しなければいけないが、実際にできるのか疑問である。必要性は分かるが、現実的には難しいのではないか。</p> <p>(委員) 商店街に関しては、ショッピングモールに行くのは車での行きやすさによると思うので、駐車場を整備すると変わるかもしれない。パーキングメーターを置くなど考えることはできないか。</p> <p>(事務局) 路上駐車が原因の死亡交通事故が発生しているので、パーキングメーターの設置は容易ではないだろう。</p> <p>(委員) 横断歩道も一体的に整備すればよいのではないか。</p> <p>(委員) 市の発注案件で市内事業者が優先される仕組みはないのか。</p> <p>(事務局) 130万円以下の市内事業者が優先される。建築工事な</p>
--	---

	<p>どは、市内事業者であれば会社のランク付以上の案件に入札参加できる。ただし、案件数がそれほどない。</p> <p>(委員) 市の主要産業は何か。雇用創出や法人税収に寄与している産業に絞って施策を打ってもよいのではないか。また、同じような産業のある自治体が連携して振興策を打ち出すことでスケールメリットを出すという考え方もあるだろう。</p> <p>(委員) 幅広く盛り込むよりもポイントを絞った方がよいかもしれない。</p> <p>(委員) 市内事業者に対する優遇を図っていかないと、市内に事業所を持ってもらうことはできない。東京都は最低賃金も高いので、市外に移転する事業者も出てくるかもしれない。</p> <p>(委員) 市内に誘致するのもよいが、事業者が市外に出ていかないことも考えるべきであろう。市内事業者が市内にとどまり、事業を大きくするための支援もあるべきであろう。</p> <p>(委員) 事業所が減っているなので、それを止めることも成果になると思われる。</p> <p>(委員) 後継者づくりなども施策として考えられる。</p> <p><結論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在人口の捉え方、市の魅力、創業者数を把握する方法については、事務局にて確認する。 ・事務局にて、資料5及び6の構成の整理を行い、再度配布する。 ・次回は、基本目標①の施策3から検討を行う。 <p>(5) その他</p> <p>(事務局) 第2回目から第5回目までの日程について、8月から10月の間で調整していただきたい。</p> <p>(会長) 8月の1週目及び4週目で、各委員の予定を事務局で取りまとめてほしい。</p> <p>(事務局) メールにて、調整させていただく。</p> <p><結論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の会議の開催日程については、事務局にて調整の上、決定する。
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p>	<p>傍聴者： <u> 0 </u>人</p>
-------------------------	--	---------------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：) </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財務部 企画政策課(内線：374)</p>
--------------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)